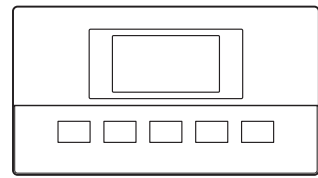
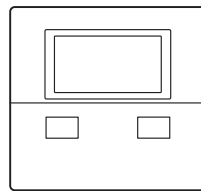


リモコン 工事説明書



(イラストは代表機種です。)

特に注意していただきたいこと

●ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。



この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示には次のような意味があります。



一般的な禁止

注意

- リモコンを正しく安全にご使用いただくためにこの「工事説明書」をよくお読みの上、指定された工事を行ってください。
- 作業時は必ず手袋などの保護具を着用してください。

- 機器とリモコンの接続は小勢力回路の工事に該当し、電気工事士の資格がなくても工事はできますが、電気設備に関する技術基準に従って工事を行ってください。
- 電源プラグがついている機器は抜いた状態で、電源プラグがついていない機器はブレーカを「切」にした状態でリモコンコードを接続してください。
- 取付工事終了後、本書は必ずお客様にお渡しください。

付属品の確認

●梱包されている部品に不足がないことを確認してください。

台所リモコン	台所リモコン用 木ねじ(L35、2本)	浴室リモコン	浴室リモコン用 木ねじ(L40、2本)	浴室リモコン用 閉端接続子(2個)
台所・浴室リモコン用 オールプラグ(4個)	リモコンによりサイズ・入数が違います。 ※コードクリップ	リモコンにより付属していない場合があります。 タッピンねじ(L10)	リモコンにより付属していない場合があります。 取扱説明書	リモコンにより付属していない場合があります。 工事説明書(本紙)

※機器との接続時に使用します。

別売部品

- リモコンコード
- リモコンパイプセット

台所リモコンの取付け

台所リモコン取付け上の注意

- 台所リモコンは防水タイプではありませんので、浴室など湿気の多い場所には取付けないでください。
- ふたを全開にしたとき、障害物にあたらない位置に取付けてください。
- ガステーブル・こまろなどの燃焼器具の上部には絶対に取付けないでください。電気部品の故障・外装変形の原因になります。
- 炊飯器・電気ポットなどの蒸気・水滴、じゃ口からの水しぶきがかかる場所には取付けないでください。
- 直射日光のあたる場所には取付けないでください。
- 幼児の手が届くところには取付けないでください。
- お湯の使用頻度が高い場所の近くに取付けていただくとう便利です。
- 業務用薬品(アンモニア・イオウ・塩素・エチレン化合物・酸類など)を使用する場所に取付けないでください。
- 通信および表示不良の原因になりますので、リモコンコードの長さが20m以内になる場所に設置してください。20mを超える場合は動作保証できません。
- リモコンコードは熱の影響を直接受けないところに配線してください。
- リモコンコードをコンクリート・壁などに埋め込むときは必ず電線管などを使用してコードを傷つけないようにしてください。
- リモコンコードを途中で分岐したり、リモコンからリモコンへ渡り配線しないでください。
- 台所リモコンの表面パネルには保護フィルムが貼ってあります。工事完了後は必ずはがしてください。
- インターホン付の場合はリモコン同士を同一壁面、もしくは近くに設置しないでください。ハウリングの原因になります。やむをえず設置する場合は、できるだけ距離を取り、中間層に吸音処理をしてください。ハウリングする場合はインターホンの音量を下げてください。

台所リモコンの取付け

埋め込み配線の場合

・事前に壁内部に電線管を通して、スイッチボックスを設置してください。

1. リモコン固定板を下にスライドさせ、台所リモコンからはずします。

2. リモコン固定板を壁に固定します。

- ・リモコンコードを電線管を通して、リモコン固定板の配線用穴から引き出してください。
- ・リモコン固定板をスイッチボックスの取付ねじ穴に合わせ、スイッチボックス付属の取付ねじ(M4)で固定してください。

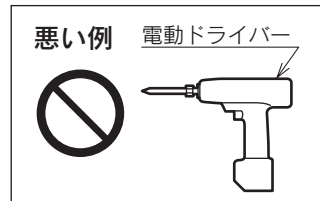
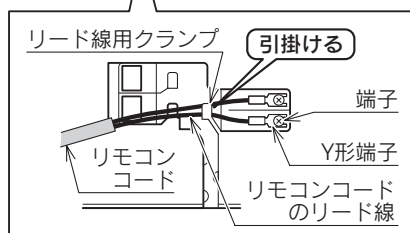
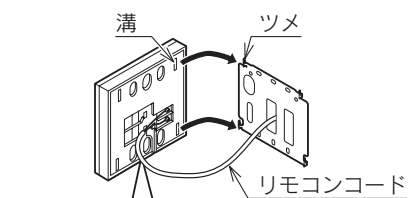
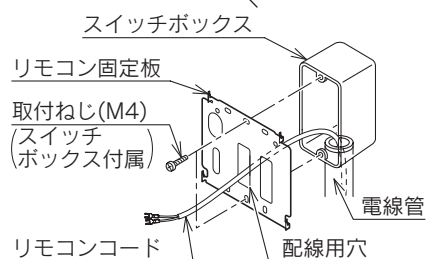
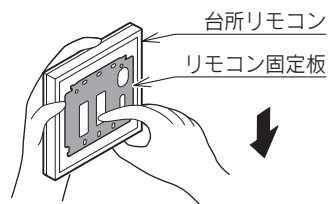
3. 台所リモコンにリモコンコードを接続します。

- ・端子への接続時に、無理な力を加えて基板を傷つけないように注意してください。
- ・電動ドライバーを使用すると端子のねじ部が破損して接触不良を起こすおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・リモコンコードは無極性ですので、＋はありません。

リモコン固定板から引き出した台所リモコンコードのY形端子をリモコン端子にしっかりと接続します。リモコンコードのリード線はリード線用クランプに引掛けます。余ったリモコンコードは壁穴に入れます。

4. 台所リモコンを取付けます。

リモコン固定板のツメ4箇所を台所リモコンの背面の溝に合わせて、上から下へスライドさせて固定します。



露出配線の場合

1. リモコン固定板を下にスライドさせ、台所リモコンからはずします。

2. リモコン固定板を壁に固定します。

壁の丈夫な場所(柱など)にリモコン固定板を付属の木ねじ(L35、2本)で直接固定してください。

・ねじを強く締めすぎるとねじ穴の破損やリモコン固定板が変形するおそれがありますので注意してください。

※タイル・コンクリート・モルタルなどの壁にリモコン固定板をねじで固定する場合は、オールプラグを使用してください。

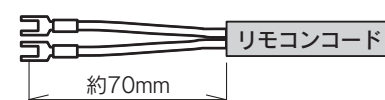
下穴径	穴深さ
6mm	30mm

穴をあける → オールプラグを打込む

3. 台所リモコンにリモコンコードを接続します。

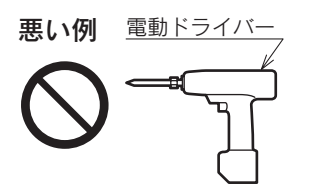
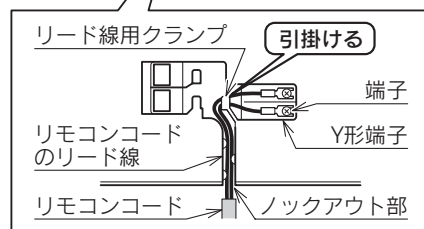
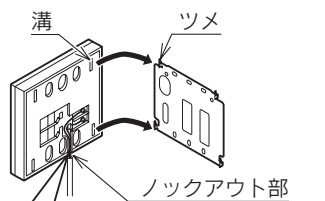
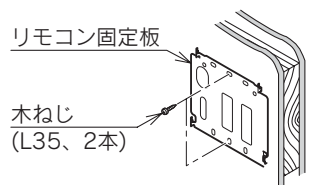
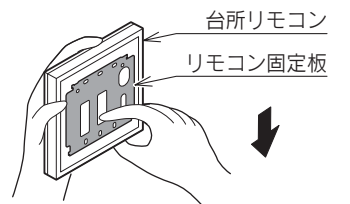
- ・端子への接続時に、無理な力を加えて基板を傷つけないように注意してください。
- ・電動ドライバーを使用すると端子のねじ部が破損して接触不良を起こすおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- ・リモコンコードは無極性ですので、＋はありません。

リモコンコードの皮むきをします。台所リモコン下部のノックアウト部を切り取り、図のようにY形端子を台所リモコンの端子にしっかりと接続します。リモコンコードのリード線はリード線用クランプに引掛けてくぼみに納めます。



4. 台所リモコンを取付けます。

台所リモコンの背面の溝をリモコン固定板のツメ4箇所に合わせて、上から下へスライドさせて固定します。

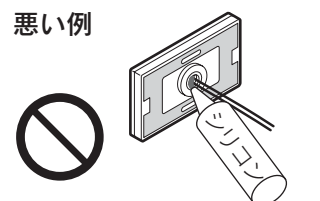


浴室リモコンの取付け

(裏面に続く)

浴室リモコン取付け上の注意

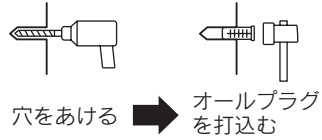
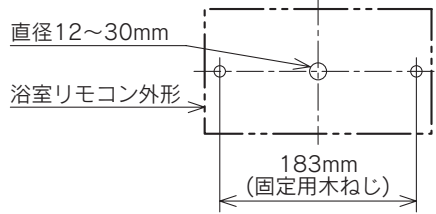
- 取付け位置はスイッチ操作が容易にでき、表示がよく見えるところを選んでください。
- ふたを全開にしたとき、障害物にあたらない位置に取付けてください。
- 壁に穴をあけますので、内部の柱・鉄筋の位置を確認してください。
- 浴室リモコンは防水加工されていますので分解しないでください。
- このリモコンは防水タイプですが、水やお湯が直接かからない場所に取付けてください。スピーカー部やマイク部(機種により付いていないものもあります。)に水がかかると、一時的に音声不良などになることがあります。
- 通信および表示不良の原因になりますので、リモコンコードの長さが20m以内になる場所に設置してください。20mを超える場合は動作保証できません。
- リモコンコードを途中で分岐したり、リモコンからリモコンへ渡り配線しないでください。
- インターホン付の場合はリモコン同士を同一壁面、もしくは近くに設置しないでください。ハウリングの原因になります。やむをえず設置する場合は、できるだけ距離を取り、中間層に吸音処理をしてください。ハウリングする場合はインターホンの音量を下げてください。
- リモコン裏面のねじ部にはリモコン変形防止用の防水通気穴がありますので、シリコンなどでふさがないでください。



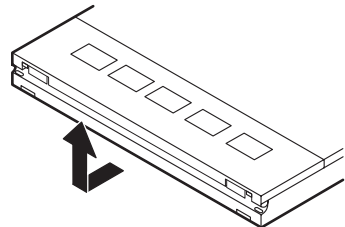
浴室リモコンの取付け

リモコンパイプセット(別売部品)を使用しない場合

- 壁にリモコンリード線が通る穴(直径12~30mm)をあけます。
- リモコンリード線が傷つかないように、穴の周囲をバリ取りします。
※タイル・コンクリート・モルタルなどの壁に浴室リモコンをねじ止めする場合は、オールプラグを使用してください。
- 表示パネルの保護フィルムをはがします。
保護フィルムをはがさず、浴室リモコンカバーをはずすと、浴室リモコンカバーが破損するおそれがあります。
- 下部の中央を軽く手前に引きながら、持ち上げて浴室リモコンのカバーを取りはずします。浴室リモコンのふたを引張って、カバーをはずさないでください。ふたが破損します。
- 壁に開けた穴からリモコンコードを引き出します。
- リモコンリード線のコネクタとリモコンコードのコネクタを接続します。



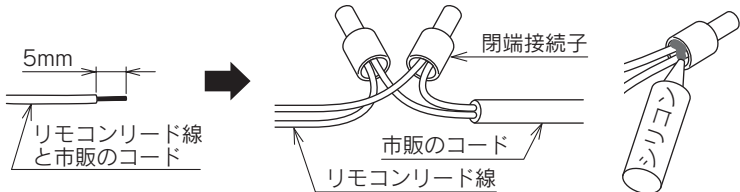
下穴径	穴深さ
6mm	30mm



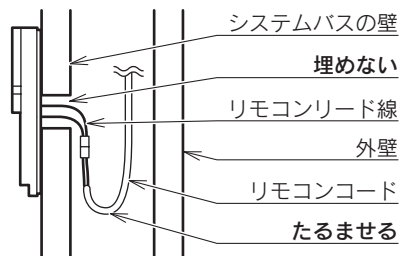
市販のコードを使用する場合

(市販のコードはVCTF0.5mm² 2心を使用してください。)

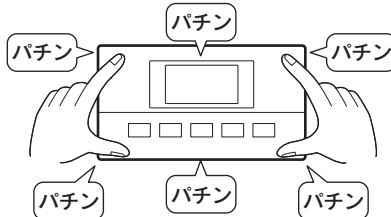
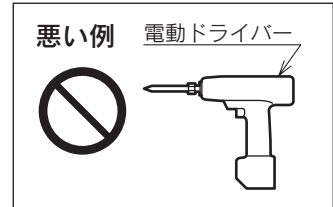
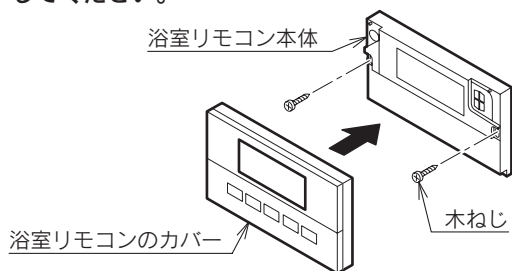
- リモコンリード線のコネクタを切り取り、リモコンリード線と市販のコードの被覆を約5mm切り取ります。
- リモコンリード線と市販のコードの先端を付属の閉端接続子に差し込んでカシメ工具でかしめ、シリコンでコーキングして防水処理をします。



- 浴室リモコン裏面のパッキンの裏紙をはがし、接続したリモコンコードとリモコンリード線を静かに壁穴に戻しながら、浴室リモコンを壁に水平に取付けます。
・浴室リモコンに水が伝わらないようにするため、リモコンコードをたるませてください。
・リモコンリード線を通した壁穴は埋めないでください。



- 浴室リモコンを付属の木ねじ(L40本、2本)で壁に固定します。
・ねじを強く締めすぎると浴室リモコンのねじ穴が破損するおそれがありますので注意してください。

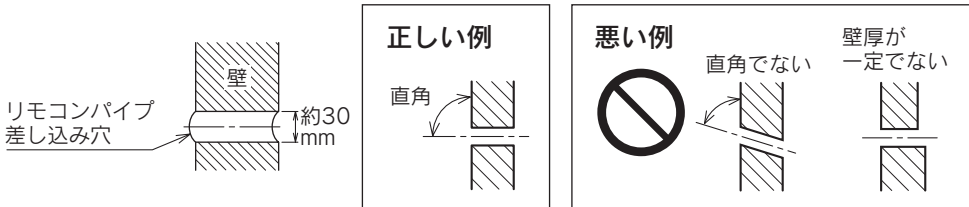


- 浴室リモコンのカバーを元通りに取付け、固定状態を確認してください。
カバーは周囲を指で押さえて、パチンと音がするまでしっかり押し込んでください。

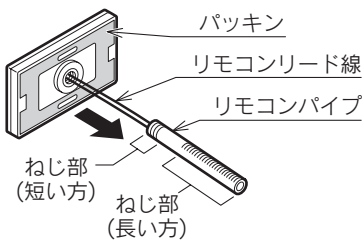
リモコンパイプセット(別売部品)を使用する場合

- リモコンパイプの取付け可能な壁の厚さは約40~210mmです。

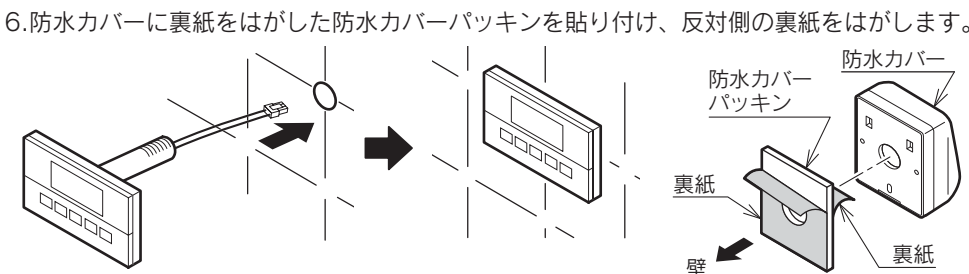
- 壁に直径約30mmの穴をあけます。壁に対して直角にあけてください。



- リモコンパイプを壁の厚さに35mm加えた長さに切ります。(ねじ部の長い方を切ってください。)
- リモコンパイプにリモコンリード線を通します。
- リモコンパイプをリモコンにしっかりとねじ込み、リモコンのパッキンの裏紙をはがします。

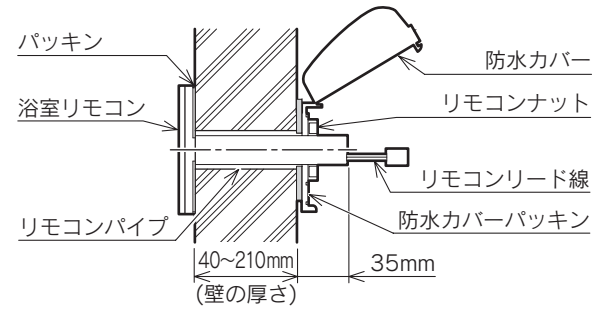


- 壁にリモコンリード線とリモコンパイプを通して、浴室リモコンを壁に水平に取付けます。



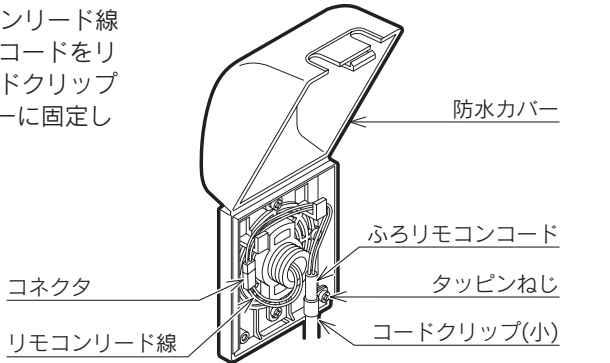
- 防水カバーに裏紙をはがした防水カバーパッキンを貼り付け、反対側の裏紙をはがします。

- 防水カバーにリモコンリード線とリモコンパイプを通します。
- 防水カバーの上下を確認して、壁に防水カバーを取付けます。
- リモコンパイプにリモコンナットをしっかりと締め込みます。



- リモコンリード線のコネクタと、リモコンコードのコネクタを接続します。

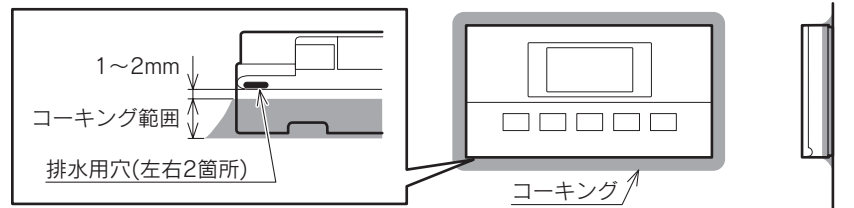
- 防水カバーの中に余ったリモコンリード線とコネクタをおさめ、リモコンコードをリモコンパイプセット付属のコードクリップ(小)とタッピンねじで防水カバーに固定します。



- 防水カバーのふたを閉じます。

浴室リモコン周囲のコーキング

浴室リモコンの周囲をシリコンなどでコーキングしてください。コーキングをしないと浴室リモコン内部に水が入り、故障の原因になります。(浴室リモコン下部の排水用穴2箇所をふさがないように注意してください。)



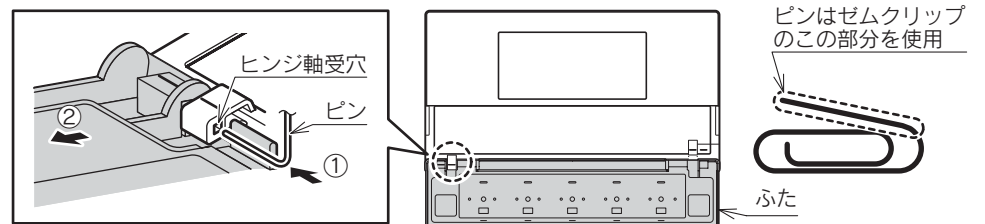
機器との接続

- 機器との接続は機器付属の「工事説明書」を参照してください。

浴室リモコンのふたとカバーについて

浴室リモコンのふたをはずす方法

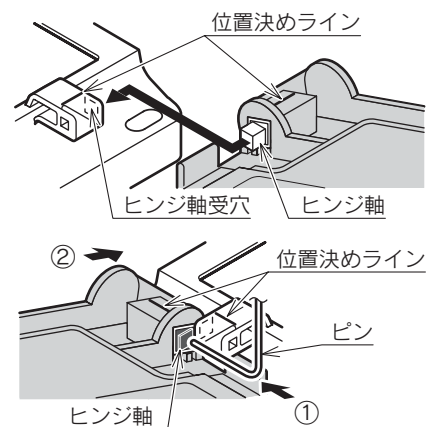
ヒンジ軸受穴に細いピン(直径約1mm)を差し込み、中のヒンジ軸を押し込んだ状態で、ふたを矢印②の方向に引いてははずします。



※ゼムクリップの代わりに六角レンチ(1.3mmまたは0.05インチ)や精密ドライバー(マイナス・1mm)も使用可能です。

浴室リモコンのふたを取付ける方法

- ふたにヒンジ(右側白・左側黒)が組み付いているか確認してください。
- 位置決めラインが合う位置で、片方のヒンジ軸受穴にふたのヒンジ軸を差し込みます。
- もう一方のヒンジ軸を押し込んだ状態で、位置決めラインが合うようにふたを取付けます。



壁に固定された浴室リモコンのカバーをはずす方法

⚠注意

- 作業時は必ず手袋などの保護具を着用してください。

- 浴室リモコン周囲のコーキングをカッターなどを利用して切り取ります。
- 浴室リモコンのふたを開き、浴室リモコンのカバーの中央を軽く下方に押しながらかき上げます。浴室リモコンのふたを引張って、カバーをはずさないでください。ふたが破損します。

